

# 2020年度通常総会報告

本年度の通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月1日（議案発送日）～5月22日（書面到着締切日）間の書面開催となりました。期間内に返送のあった書面数および各議案に対する賛否は下記の結果となりました。これにより、各議案はいずれも承認されました。

	有効書面数	賛成	反対	
第1号議案	123	123	0	
第2号議案	123	122	1	
第3号議案	123	123	0	(会員数：145)

## ■2019年度事業報告について

### 1 会員の動向

年度当初148名であった会員数は、入会2名、退会5名により2020年3月末現在で145名となった。

### 2 諸会議の開催

2019年4月18日第1回・第2回理事会及び通常総会、2020年2月15日第3回理事会を開催した。

### 3 普及事業

#### (1) 林産技術普及事業

ア 木材利用に関する相談事業を実施

イ 講演会等の開催

①総会記念講演会：都心における建物への木材利用 —みなとモデルが繋ぐ都市と森—

(NPO法人フォレストリンク 酒井 里佳氏)

②「木になるフェスティバル」の開催（道総研林産試験場との共催）

日にち：2019年7月20日、来場者：690名

協会の実施内容：葉っぱのスタンプ。木工クラフト、木材、木チップ、飲み物の販売

③「Hokkaido CLT Pavilion」見学会・講演会（(公社)日本木材加工技術協会北海道支部との共催）

日にち：2019年8月22日、参加者：39名

講演：最近のCLT建築事例

酒井 洋氏 ((一社)日本CLT協会)

北海道の森を活かす新しい木造の建築

遠藤謙一良氏 ((株)遠藤建築アトリエ)

CLTパビリオンを実現した技術と建設状況

大橋義徳氏 (道総研林産試験場)

ウ 会誌・図書が発行事業：788～799号の「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を発行した。

エ ホームページの活用：ウッディエイジの目次等、各種情報を適宜掲載した。

#### (2) その他事業

ア 展示品維持管理事業：展示品維持管理業務を道総研から受託した。

イ きのこ栽培試験管理事業：きのこ栽培試験管理業務を道総研から受託した。

ウ 講習・連携等事業

①木材接着講習会（(公社)日本木材加工技術協会北海道支部との共催）：2019年7月11,12日、受講者5名

②林産技術セミナー：道総研林産試験場が実施したセミナーを後援した。

③連携事業：「上川地域水平連携協議会」事務局として、「顔の見える木材での快適空間づくり事業」に採択された「トドマツ厚板による防耐火構造外壁の普及」を実施した。

④会員企業支援事業：道総研林産試験場での依頼試験等を実施した会員に、所用経費の1/2を助成した。

## ■2019年度 正味財産増減計算

収入の部		支出の部	
会費収入	2,638,318	事業費	18,067,110
林産技術普及事業収入	1,325,929	管理費	1,590,923
受託事業収入	18,028,450	次期繰越金	19,167,073
講習物販等事業収入	15,223		
受取民間助成金	170,000		
雑収入	19,049		
前期繰越金	16,628,137		
計	38,825,106	計	38,825,106

## ■2020年度事業計画

### 1 林産技術普及事業 [実施事業等会計]

木材加工技術の研究促進や技術向上，民間企業への導入促進と一般市民の木材活用技術についての理解の醸成を図るため，次の事業を実施する。

- (1) 「木と暮らしの情報館」来館者からの林産技術や木製品に関する質問，一般市民からの電話等による問合せに対し，簡易な説明と道総研林産試験場，木材企業の紹介等を行う。
- (2) 道総研林産試験場との共催で，木になるフェスティバルを開催する。
- (3) 北海道森林建築セミナー実行委員会との共催で，森林・建築セミナーを開催する。
- (4) 一般市民に対し，木材利用の促進を図る普及活動を実施する。
- (5) 会誌「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を月刊発行(800～811号)する。
- (6) ウッディエイジ記事のホームページでの公開を始める。
- (7) 公設試験研究機関，大学，木材加工企業等に対し，会誌及び木材乾燥等の技術資料提供に努める。
- (8) トドマツ等地域材の有効利用拡大を目的とした「上川地域水平連携協議会」の活動を支援する。

### 2 展示品維持管理事業[その他事業]

木と暮らしの情報館に係る「展示品維持管理業務」の受託に努める。

### 3 きのか栽培試験管理事業[その他事業]

「きのか栽培試験管理業務」の受託に努める。

### 4 講習物販等事業[その他事業]

林産技術の普及や技術を活用した製品普及のため，次の事業を実施する。

- (1) 講演会，講習会を開催する。
- (2) 会員企業が道総研林産試験場へ依頼試験等を行う場合に，費用の一部を助成する。

## ■2020年度収支予算

収入の部		支出の部	
会費収入	2,660,000	事業費	19,631,800
林産技術普及事業収入	200,000	管理費	1,570,000
受託事業収入	18,264,400	次期繰越金	19,361,173
講習物販等事業収入	100,000		
受取民間助成金	170,000		
雑収入	1,500		
前期繰越金	19,167,073		
計	40,562,973	計	40,562,973